

当院で腎炎・腎不全教育パス入院を受けた患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究は、普段の診療で得られた以下の情報を解析してまとめるものです。この研究のために、新たな検査等はいりません。ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、以下の担当者までご連絡ください。また、この研究に診療の情報を使ってほしくないとのご意思がある場合も、遠慮なくご連絡ください。お申し出以降は、その方の情報はこの研究には利用せず、すでに収集した情報があれば削除します。お申し出による不利益は一切ありません。ただし、解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2021 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日の間に、腎炎・腎不全教育パス入院を受けた方

【研究課題名】クリティカルパスが医療の質と患者意思決定支援に及ぼす影響に関する研究

【研究責任者】

国立循環器病研究センター 腎臓・高血圧内科部長 吉原史樹

【研究の目的・意義】

腎炎・腎不全教育パス入院を受けた患者さんを対象とし、機能温存効果および腎代替療法（主に血液透析・腹膜透析・腎移植の3つがあります）の選択における患者意思決定（患者さんおよびご家族が希望を決めることです）への支援への影響を明らかにすることを目的としています。さらに、入院診断病名による DPC ベンチマーク分析（入院期間や入院中に実施された投薬・注射・処置・検査・画像の検索を実施し、他施設との診療内容比較）を行います。この研究の成果は、将来的に慢性腎臓病の患者さんが受ける医療の質や意思決定支援の改善に繋がることが期待されます。

【利用する診療情報】

- ・ 診療情報：傷病名、年齢、性別、身長、体重、肥満指数（体重 kg ÷ (身長 m)²）
- ・ 腎炎・腎不全教育パス入院（初回）の入院日、退院日、入院期間（日）
- ・ 2 回目以降の腎炎・腎不全教育パス入院の有無：有（回数）・無
- ・ 腎炎・腎不全教育パス入院（初回）前 1 年間の入院の有無：有（期間）・無
- ・ 腎炎・腎不全教育パス入院（初回）後 1 年間の入院の有無：有（期間）・無

- ・ 既往歴・併用療法
- ・ 血液生化学・生理学的データ：腎炎・腎不全教育パス入院（初回）入院前 1 年間および腎炎・腎不全教育パス入院（初回）入院後 1 年間の以下のデータとサンプル（血液・尿）採取日 ただし、検査が実施されていなかった場合は可能な範囲内の情報を収集します。血清クレアチニン値、推算糸球体濾過量、血液尿素窒素、ヘモグロビン値、血清アルブミン、尿蛋白/クレアチニン比、尿アルブミン/クレアチニン比、尿中ナトリウム (Na)、尿中クレアチニン、推定食塩摂取量、尿中カリウム (K)、尿中 Na/K 比、HbA1c、B 型 Na 利尿ペプチド (BNP)
- ・ 診察室血圧（収縮期血圧、拡張期血圧）、脈拍
- ・ 家庭血圧（収縮期血圧、拡張期血圧）、脈拍
- ・ 慢性腎臓病の重症度、その原因疾患
- ・ 腎代替療法選択指導の有無：有・無・不明
- ・ 腎代替療法選択指導後の患者意思決定：血液透析・腹膜透析・腎移植・薬物治療・未定
- ・ 腎炎・腎不全教育パス入院（初回）の入院時処方および退院時処方
- ・ 腎炎・腎不全教育パス入院（初回）退院後の経過情報（入院、生存、病気の発症や腎代替療法導入に関する情報）

また、あなたの情報を含む以下の DPC データ（医療算定をした結果として生まれるデータ）も利用します。このデータは既に匿名加工情報（個人を識別することができないように個人情報を加工したもの）となっており、個人を特定できないため、あなたの情報を削除することはできません。

性別、傷病名、手術、重症度指標、診療行為、実施日、使用薬剤、薬剤使用量

【情報の管理責任者】

国立循環器病研究センター 理事長

【研究期間】研究許可日より 2030 年 12 月 31 日まで（予定）

情報の利用を開始する予定日：2025 年 4 月 17 日

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所等の個人を直接特定する情報については厳重に管理し、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人を特定できない形で行います。

【この研究の結果について】

この研究は、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありませんので、研究の結果を個別にお知らせすることはありません。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター 腎臓・高血圧内科 部長 吉原史樹
電話：06-6170-1070